

ぎかいだより



第50号
2023年2月1日
発行

題字 朝日小学校6年生 **ながせゆいと** 長瀬結音さん
朝日小学校6年生から8点の応募をいただきました。



Contents

- P2 定例会・臨時会の報告**
 - ・12月定例会議案審査及び補正予算審査等
 - ・11月臨時会議案審議
- P7 一般質問**
- P11 活動報告**
 - ・閉会中の委員会活動
- P14 特集**
 - ・50回のあゆみ
- P16 お知らせ**
 - ・次回定例会日程ほか

**表紙の写真を
募集しています!**
詳細は裏表紙を
ご覧下さい。

12月定例会 議案審査

令和4年12月1日～21日の会期で12月定例会を開催し、140億円を超える新ごみ処理施設の建設工事請負契約の締結など、19件の議案を可決、請願1件を不採択としました。また、11月7日には臨時会を開催し、原油価格・物価高騰等の対策として総額9億円の補正予算を可決しました。以下に、主な議案の審査等の状況をお伝えします。

議案審査(総務環境委員会)

新ごみ処理施設建設工事請負契約の締結



新ごみ処理施設イメージ図

問 当初の実施計画では、100億円の金額が計上されていたが、約140億円の契約金額となった。その根拠は。

答 95トンという施設規模では発電が難しいといわれていたが、技術の進歩により今回の施設規模でも発電ができることがわかり発電に関する設備を追加したことが大きな要因である。また、物価高騰や海外からの製品の輸送料が膨大となる。

問 二社の入札金額の差である約6億5,000万円の内容は。

答 市としては、6億5,000万円の差は大きいと捉えているが、落札業者は95トンストーカー方式の実績をもち、焼却灰などの残渣の量が少ない点や少ない人員体制による運営とそれに応じた機械配置、省エネルギーシステム機器の使用など高度な提案をしており、技術水準の差が表れたと考える。また、維持管理についても安全性や環境基準を守れる業者を選定した。

問 安全性や確実性を担保しつつ、令和8年2月の工期を守れるのか。

答 全国的な工期は4年と言われており、それから見れば短めの工期であるが、事業者からは工期を短縮するような施工方法の提案もある。工期縮減を実現できるようしっかり取組んでいく。

委員間討議

契約後の建設から稼働に向けての対応などを論点として委員間討議を行いました。委員間討議では、近年まれにみる著大事業であり、市民生活に大きく影響する案件であるため、執行に当たって十分留意すべき点をまとめ附帯決議を行うこととしました。

議第97号 高山市ごみ処理施設建設工事請負契約の締結についてに対する附帯決議

巨額の税金を投入する著大事業であるごみ処理施設の建設に関しては、これまで建設地をめぐる地域住民と様々なやり取りがあり、現行の地で建設を行うことについて苦渋の決断をしていただいた。こうした中で「全国トップクラスの環境基準厳守」、「30年後には移転する」ことを約束し、地域住民に理解をいただいている。

これらを踏まえ、実施にあたっては、以下の点について十分留意されることを求める。

- 1.市民の安全・安心を守るために、30年間の長期安定稼働によって、全国トップクラスの環境基準を遵守することはもちろんのこと、運営管理体制の在り方、安全・安定な稼働のための財源確保、埋立処分地の今後について十二分に検討を行い、当委員会に対し中長期の運用計画を示すこと。
- 2.令和8年4月の稼働に向け、工程管理の徹底を図ること。

附帯決議文はホームページを参照ください。



議案審査(総務環境委員会)

個人情報保護法施行条例制定

問 今回の条例制定によって、個人情報のセキュリティに影響はあるのか。

答 国が制定した法律のルールで取り扱っていくことになるが、高山市のルールは標準的な内容であるため、市民への影響はない。また、セキュリティについても同様の扱いとなり、大きく変わるものではない。



議案審査(総務環境委員会)

情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例制定

問 デジタルデバイド(情報通信格差)の対策は。

答 現在も「高齢者向けのデジタルなんでも相談会」や「スマートフォン教室」などの開催を行っており、今後も機会を設けていきたい。一方、デジタルでの手続きが難しい市民の方もみえるため、窓口での丁寧な対応を進める。



議案審査(福祉文教委員会)

高山市福祉医療費助成条例の一部改正について

問 高校生までの医療費無料化についての県内21市の状況と助成対象は。

答 高校生などを助成対象としているのは9市、その内、入院・外来とも助成対象としているのは7市、入院のみ助成対象としているのは2市である。高山市は、18歳到達後最初の年度末まで、高校生、就業者等に関係なく、入院・外来の保険診療に係る分を全て対象とする。



議案審査(福祉文教委員会)

電子カルテシステム取得について

問 診療所における電子カルテシステム更新によるメリットは。

答 医師が往診や訪問診療の際に現地で電子カルテを操作し直接入力ができるようになり、処方箋等もその場で発行できる。

さらには、市内の国保診療所間で情報共有が可能となり、医師が兼務する診療所では、素早い対応が可能となる。



議案審査(産業建設委員会)

大規模開発による都市公園の移設等に伴う市道路線の廃止

問 今後、大規模開発事業が出てきた場合、諸計画の中での位置づけなどを示す指導要綱などが必要ではないか。

答 指導要綱については検討させていただく。今回の事案についても慎重に検討するとともに上位計画である都市基本計画や緑の基本計画との整合性も踏まえ判断したが、将来の在り方という点を意識し、今後もまちづくり条例等による指導に努めていく。

議案審査(産業建設委員会)

都市計画道路 松之木千島線 道路新設事業に伴う市道路線の変更

問 起点と終点への信号機設置について関係機関との調整は。

答 松之木側、江名子側どちらの交差点についても公安委員会と協議を進めている。信号機の設置条件となる滞留場所の設置など、形状については信号機の設置条件を満たす形で交差点設計を計画し地権者の理解も得ている。



12月定例会 補正予算審査

ふるさと納税の寄附額増加に伴う関連経費及び原油価格・物価高騰対策などの補正予算を審査。

◆令和4年度高山市一般会計補正予算
第8号 **約17億6千万円**

- ふるさと納税の寄附額増加に伴う関連経費
- 公共施設の電気使用料、指定管理料の増額
- SNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用した情報発信事業の実施など

■主な質疑

問 ふるさと納税の寄附額増加の要因は。

答 今年度より返礼品の登録事業者や、返礼品のバリエーションが豊かになったことも要因の一つと考えている。



問 今後も電気料金の高騰が予想されるが、年度末の指定管理料等の方針は。

答 これからどう電気料が推移していくかが見込めない状況ではあるが、現状を確認し必要があれば指定管理料の調整を行うことを考えていく。

問 SNSを活用した情報発信事業に期待される効果は。

答 これまでも市からさまざまな情報発信を行ってきたが、一部ではしっかり市民に情報が届いていないという指摘もある。SNSをより強化し、効果が得られるように定期的に検証をしていく。

◆令和4年度高山市介護保険事業特別会計補正予算
第1号 **約1億2千万円**

◆令和4年度高山市下水道事業会計補正予算
第1号 **2千7百万円**

請願1件を審査◆不採択とすべきものに

「高山市学校給食施設、大規模センター調理方式の見直しを求める請願」賛成少数により不採択とすべきものに

「高山市学校給食施設、大規模センター調理方式の見直しを求める請願」について、請願者(高山市学校給食を考える会 代表 中田静枝)を参考人招致し願意を確認するとともに紹介議員(上嶋希代子)に質疑を行ったうえで審査しました。審査においては、各給食センターが老朽化しており、自校調理方式への移行は現実的には困難である。新設される給食センターでは、食物アレルギー専用調理ラインが整備され安全である。請願賛同者の思いを反映させるために食育センターとすることを求めていく。持続的に安全安心な給食を提供するためには、大規模給食センターの新設計画は推進されるべきであるといった意見がありました。



12月定例会 議案審議 (追加議案)

市長の給料を3ヶ月、50%減額する条例改正について

問 市長のたばこポイ捨て問題については、市長としての自覚を持っていたのかが、市民の声が非常に大きいところであるが、市長の見解は。

答 たばこのポイ捨て行為を行っていたことは事実であり、自覚が足りなかったのではないかと指摘をされても致し方ない事態であったと認識している。今後、市長として、誠心誠意、市民の皆さんのお声を聞きながら市政を実行していくことで、信頼回復に努めたい。

問 今回の件は、市長個人の案件であったが、自治体の長としての発言であるということで、非常に重いものがあり、また全体的にも影響があったと思っている。従って、記者会見

における市長の発言は慎重であるべきであって、高山市全体への影響を念頭に置いて記者会見に臨むことが必要だったが、そのあたりの危機管理意識や準備体制はどうであったのか。また、今回のことを踏まえて、この体制を強化すべきだと考えるが。

答 事実が確認できた段階でいち早く謝罪したい気持ちから、緊急の記者会見を開いたため、十分な準備ができていなかった。今後、今回の一連の流れを検証しながら市民の皆様にしかりとご説明し、また理解いただけるような、そうした準備は当然必要であり、いっそうそうした体制の強化に努める。

また、議会を代表して議長が以下のとおり申し伝えました。

- このような議案を議決しなければならない事態になったことは誠に遺憾である。
- 市長においては、今後、二度とこうした事態を引き起こさないよう、改めて、公人たる市長の職責の重さに鑑み、自らを厳しく律するとともに、今後の市政運営に全力を傾注し、市民の信用と信頼の回復、そして、飛騨高山のイメージ回復に努めるよう強く求める。

12月定例会 上程議案一覧表

市長提出議案

| 議案番号 | 件名 | 付託委員会 | 議決結果 |
|--------|--|-------|------|
| 報第 20号 | 金銭債権に係る訴えの提起の専決処分について | — | 報告 |
| 議第 87号 | 高山市個人情報保護法施行条例について | 総務環境 | 原案可決 |
| 議第 88号 | 高山市個人情報保護審査会条例について | 総務環境 | 原案可決 |
| 議第 89号 | 高山市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例について | 総務環境 | 原案可決 |
| 議第 90号 | 高山市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について | 総務環境 | 原案可決 |
| 議第 91号 | 高山市特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について | 総務環境 | 原案可決 |
| 議第 92号 | 高山市職員の給与に関する条例及び高山市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について | 総務環境 | 原案可決 |
| 議第 93号 | 高山市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例について | 総務環境 | 原案可決 |
| 議第 94号 | 高山市放課後児童クラブの設置等に関する条例の一部を改正する条例について | 福祉文教 | 原案可決 |
| 議第 95号 | 高山市福祉医療費助成金条例の一部を改正する条例について | 福祉文教 | 原案可決 |
| 議第 96号 | 高山市立学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例について | 福祉文教 | 原案可決 |
| 議第 97号 | 高山市ごみ処理施設建設工事請負契約の締結について | 総務環境 | 原案可決 |
| 議第 98号 | 財産(電子カルテシステム)の取得について | 福祉文教 | 原案可決 |
| 議第 99号 | 市道路線の廃止について | 産業建設 | 原案可決 |
| 議第100号 | 市道路線の変更について | 産業建設 | 原案可決 |

| | | | |
|--------|---------------------------------|--------|------|
| 議第101号 | 令和4年度高山市一般会計補正予算(第9号) | 予算決算特別 | 原案可決 |
| 議第102号 | 令和4年度高山市介護保険事業特別会計補正予算(第1号) | 予算決算特別 | 原案可決 |
| 議第103号 | 令和4年度高山市下水道事業会計補正予算(第2号) | 予算決算特別 | 原案可決 |
| 議第104号 | 高山市特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について | - | 原案可決 |

請 願

| 議案番号 | 件 名 | 付託委員会 | 議決結果 |
|-------|---------------------------------|-------|------|
| 請願第1号 | 高山市学校給食施設、大規模センター調理方式の見直しを求める請願 | 福祉文教 | 不採択 |

12月定例会の議案賛否一覧

12月定例会の提出議案における各議員の賛否は次のとおりです。
この他の議案は、いずれも全員一致で可決・承認しました。

| | 片野 晶子 | 水野千恵子 | 石原 正裕 | 笠原 等 | 西本 泰輝 | 松林 彰 | 中谷 省悟 | 伊東 寿充 | 谷村 昭次 | 西田 稔 | 沼津 光夫 | 榎 隆司 | 山腰 恵一 | 渡辺 甚一 | 岩垣 和彦 | 中茂 博之 | 倉田 博之 | 松山 篤夫 | 上嶋希代子 | 車戸 明良 | 水門 義昭 | 橋本 正彦 | 中田 清介 | 小井戸真人 |
|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 議第87号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | △ | ○ | ○ | ○ |
| 議第90号 | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ |
| 請願第1号 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ● | △ | ● | ● | ● |

※「○」は賛成、「●」は反対。水門議長は採決に加わりません。

11月臨時会 補正予算審議

◆令和4年高山市一般会計補正予算 第7号
3億6千万円

原油価格・物価高騰対策関係

- 電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金

◆令和4年度高山市一般会計補正予算 第8号
約5億4千万円

新型コロナウイルス感染症対策関係

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業経費の増額

原油価格・物価高騰対策関係

- ほかほか暖房費助成事業の実施
- 私立保育園、幼稚園等の光熱費高騰分の助成
- 子育て世帯負担軽減給付金給付事業の実施

■主な質疑

問 子牛価格の値下がり、また牛の飼料値上がりで畜産農家が困っている。市の見解は。

答 市では、6月に粗飼料についての支援をすること、国では、配合飼料の部分をしっかり見ていくということである。今後、国の動向を



見ながら、それらの支援が必要なのかどうか考えていく。市では粗飼料について、1年間支援するよう決めている。今後、配合飼料について方向性や国の対応状況を見極めながら対応していく。

問 指定管理施設などにおいても昨年12月補正の後で、各施設と協議しながら年度末に調整していくというやり方をされたが、今年の場合も経済状況としては予期せぬ部分があるが、考え方や対応は。

答 指定管理施設については、既に電気料等の対応は行っているが、いろいろな情報も入っている中で年度末に向けて、最終的にはしっかり対応するという方針で向かいたい。物価高騰やコロナ経済対策ということも含めていつどのような対策が必要かということを随時、議論し議会に相談しながら進めるといったスタンスで向かいたい。

問 財政調整基金を使ってでも生活困窮者に対する現金給付が必要と考えるが。

答 コロナの経済への影響は通常の経済政策で収まるものではない。生活に負担感が増していることは承知している。必要があれば財政調整基金を充てるという考え方は、これまででも今後も変わりはない。物価高騰はどれだけ続くのかや今後の改善する見込についても不透明な部分もある。それぞれの状況に応じてきめ細やかな対応をしていきたい。

高山市の医療体制と 高山厚生病院の今後について

清和クラブ
松林 彰



問 高山厚生連の担うべき役割は、具体的にどのようにしたらよいのか。財源はどのようにするのか。医療の責任は県にあるが、介護保険は市にある。その混合型として役割を担ってきた高山厚生病院・療養型医療施設の今後について、高山市の見解は。

答 法改正により新たな介護保険施設として定義された「介護医療院」の機能が、この地域にも必要ではないかというご意見もいただいております。市としてはこのような現状を踏まえて、関係する市村と連名で厚生連に対して介護医療院への転換について要望しているところである。



山城は地域の資産 郷土愛の礎として活用を!

清和クラブ
松山 篤夫



問 広瀬城の畝状空堀群とセットで設けられた防御ラインは、当時の最新技術を導入して構築されたものであり、飛騨中世城郭の頂点を示すものである。防御ラインは長さ430mにわたって構築された巨大なものであり、広瀬城は飛騨中世城郭群の最終到達点の城郭で、大規模な畝状空堀群や堀切が良好な状態で残っている。国の史跡に指定されることが待ち望まれているが、指定申請の現状は。

答 文化庁の調査官に現地確認をしていただき、その価値を再評価いただいた。早期の国史跡指定に向けて取り組みを進める。



廣瀬城跡石碑

乗鞍スカイラインの 復旧について

清和クラブ
車戸 明良



問 令和4年9月に再び崩落して全面交通止めが続く「乗鞍スカイライン」復旧の状況と、1車線確保した早期仮復旧への方向性は。また観光への影響と対応は。

答 県は、対策検討会で自然災害との見解を示し工法など復旧計画を進めている。地域の観光を支える重要な道路であり、人や自転車を含め、片側交互通行による開通も視野に入れ可能な限り早期復旧が出来る工法を選定している。市は、国、県への1日も早い復旧の要望やバックアップをする。観光への影響は大きく、受け入れ環境の整備やプロモーションなど、状況を見据えながら取り組む。



食物アレルギー疾患への 理解や配慮を

高山市議会公明党
山腰 恵一



問 指定避難所では、炊き出しや非常食の提供によって、食物アレルギー疾患を持つ人(特に子ども)への周囲の理解不足によって、アレルゲン成分のある食物を食べてトラブルが発生することがある。市では、運営責任者への周知や啓発、対応をどう進めてきたのか。

答 避難所運営マニュアルに基づき講習会を開催しているが、マニュアルでは、食物アレルギー対応について、まだ十分な内容になっておらず、特に子どもを持つ方については重要と認識している。具体的な内容を記載し適正な配慮ができるよう取り組む。



妊娠、出産、産後、育児までの 伴走型支援

高山市議会公明党
中 箴 博 之



問 妊娠、出産、産後、育児まで切れ目のない伴走型支援の一環として国が進める「出産・子育て応援交付金」の活用については、状況を一番把握している自治体の創意工夫にゆだねられているが、市として母乳マッサージや産前産後ヨガ、骨盤ケア、ベビーマッサージなどに使えるクーポン券のような形で展開できないか。

答 国から「現金給付以外による方法も可能」とされており、母乳マッサージなども含め、妊娠時・出産時に活用いただけるようニーズに応じた支援を検討したい。



農業用水路の 老朽化対応について

たかやま自民クラブ
橋 本 正 彦



問 農業用水路を取り巻く環境は、都市化など大きく変化しており、老朽化対応・大規模改修などは、農政部の対応だけでなく、土地利用形態に合わせた所管の見直しなど、市全体の対応が必要ではないか。

答 大部分が、昭和30年代から40年代に整備されたもので、土地利用の形態と取り巻く環境が大きく変化して来ており、主となる利用が農業用から生活用に変わってきている地域も存在することから、今後、農業者の減少、持続可能な農業の振興という観点からも、水路管理の在り方については関係部署と協議を進めて行く。



GIGAスクール構想による 教育環境

たかやま自民クラブ
水 野 千 恵 子



問 義務教育の子どもに1人1台タブレット端末導入の時代が来たが、メリット・デメリットは？

答 メリットは授業や子どもの学びの可能性が広がったこと。入院や自宅待機中の児童生徒、不登校児童生徒に対して自宅と学校を繋いだオンライン授業の配信ができる。

デメリットは目的外の使用で生徒指導上の問題が生じる。また破損等の修理に高額な費用がかかる。

しかし子ども達は端末のカメラを使って映像を上手に作ったり主体的な活用ができて、今後は多様な表現活動ができるなど可能性は大きい。



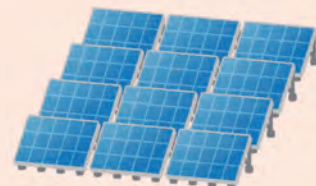
増進する太陽光発電設備 設置事業への懸念

たかやま自民クラブ
石 原 正 裕



問 地域においては複数計画があり、災害や景観、設置後の管理や撤去に懸念がある。管理体制の現状と、今後現状に加えた条例制定や促進区域の設定を検討する考えは。

答 市では「美しい景観と潤いのあるまちづくり条例」に基づき、周辺環境や災害発生に懸念がないか、事業者に対し必要な指導等を行い、調整を図っている。条例制定に対しては、再生可能エネルギーの導入促進等への影響や、促進区域の設定にも様々な課題もあるが、今後、開発動向を注視し必要な対応を考える。国において、廃棄にかかる費用積み立て制度もある。



市長の地域経済に活かす 新・観光ビジョンは

たかやま自民クラブ
西本 泰輝



問 市長公約で、「持続可能な地域づくりの実現のための観光振興の活用」を約束し、観光を柱にした地域経済から、地域経済のために観光を活かす、新・観光ビジョンを実現させていくとしているが、多くの地域資源が眠り、活かされてない支所地域についての考えは。

答 地域の特徴が埋もれているのは否めないが、新しい動きも出てきている。地域資源をいかに結び付けて誰が引っ張っていくか、地域に落とし込みどう実行していくかが一番難しいところだが、いろんなところで沸々と起こっている事象を行政がしっかりバックアップし、地域全体が盛り上がる動きにつなげていく。



市内における 人材不足問題

たかやま自民クラブ
伊東 寿充



問 市の将来をしっかりと見据え、IT人材や伝統工芸・建築等、成長分野や不可欠分野の人材育成及び支援策を積極的に展開できないか。

答 情報通信技術の活用は今後の産業振興のカギを握る。高校生を対象としたIT人材の育成に力を入れると共に、先端技術で代替できない、伝統建築産業等の後継者育成について、来年度に向け支援内容の拡充を検討する。



地域の宝、伝統技術を守ろう!

たかやま自民クラブ
西田 稔



問 高齢化により伝統技術が存続の危機にあるが。

答 市では伝統技術の文化財指定、映像記録の作成、補助金の交付などを行ってきた。補助要綱の見直しを行い現在市内に四つある文化財指定を受ける伝統技術すべてに助成ができるよう準備を進めている。

問 製作技術が国重要無形文化財の江名子バンドリだが作る人が少なくなり二十四日市にも出店できない。伝統技術が途絶えてしまうが。

答 映像記録など事業をおこなってきたが今後も更なる取り組みが必要。後継者さがしや販路拡大に協力するなど積極的な活用に努める。



森林環境譲与税について

たかやま自民クラブ
沼津 光夫



問 森林環境譲与税にかかる今年度の取り組み及び来年度の取り組み内容は。

答 今年度は重点区域森林整備や、森林経営管理制度に基づく森林整備の他、境界の明確化や、担い手の確保に加え、森林作業道の維持修繕の支援や市民提案による森林づくりを行っている。

来年度以降も、実施している事業の見直しを行い、木材の安定供給のための生産体制の強化などを行う。



放課後等デイサービスについて

無会派
上嶋 希代子



問 障害のある学齢期の児童が、学校終了後や学校休業日に利用することができる療育機能、居場所機能を備えた福祉サービスが2012年4月から児童福祉法に位置づけられ実施されている。高山市には12の施設があるが、今年になって利用日数の変更と利用料金の設定が行われ、保護者からは困るとの声が届いている。変更の理由と対策は。

答 利用者が多くなり施設の不足が生じてきた。希望者の不公平を是正するため、利用日数の調整をおこなった。利用料金は留守家庭児童教室との整合性をとり有料化した。



不登校の児童生徒を持つ家庭への経済的支援について

無会派
片野 晶子



問 不登校児童生徒の状態は多様であり、学校外での居場所を必要としているが経済的理由で断念するケースが少なからずある。悩む親御さんの救済、児童生徒の安心できる環境の保証は緊急の課題であり、家庭への経済的支援を検討すべきと考えるが市長の見解は。

答 多様性を尊重したいという見解のもと、実態を把握した上で必要であると判断した場合は、制度設計を行なっていきたい。来年度当初の予算でなくとも過程の中で必要であれば、年度途中であってもできる限りの対応をする。



マイナンバーカードの交付状況と今後の取り組み

無会派
小井戸 真人



問 国はマイナンバーカードを今年度末までにほぼ全国民に行き渡らせるという目標を掲げているが、高山市におけるマイナンバーカードの交付状況と今後の取り組みは。

答 高山市における11月末現在のマイナンバーカードの交付率は58.3%で、国、県の交付率を上回っている。交付に関する取り組みとしてスーパーでの出張申請や民間事業者との連携、窓口対応職員の増員など申請を受け付けられる体制を強化していることから、今年度末の高山市の交付率は60%を大きく超える見込みである。



1ミリの可能性がまちを活気づける！

創政・改革クラブ
倉田 博之



問 待望のサッカー場・野球場は、総合スポーツエリアも検討しつつ公認サイズで令和8年供用開始と八次総にあるが、まだ時間がかかると聞いた。いつまで市民を待たせるのか。

答 エリア構想は課題の多さが明白となった。早期に個別の整備を行う方針。

問 一日も早い個々の完成を求める。一方で市政全般にわたる総合政策的効果を市はエリア構想で唱えていた。目的達成に向け検討を継続し、可能性を追求すべきだ。

答 まずは日常活用の整備で利用者の期待に応えたい。今後もエリア構想などスポーツ行政の将来像を研究する。



議会閉会中の委員会活動

福祉文教委員会

分野別市民意見交換会と現地視察について

■分野別市民意見交換会を実施

福祉文教委員会では重点政策課題として、「文化振興条例」と「子どもの権利条例」の2つのテーマを掲げて調査研究活動を行っています。その一環として関係団体等との分野別市民意見交換会を実施しました。

10月14日には(一社)高山市文化協会と意見交換を行い、文化振興条例の必要性、飛騨高山文化芸術祭こだま～れの今後の取り組み内容、高山駅西地区まちづくり構想の中で文化振興活



高山市文化協会との意見交換会

動の中心となる拠点づくりなどについてお聴きしました。

また、11月11日には子育て支援等に取り組んでいるNPO法人飛騨高山わらべうたの会と意見交換を行い、ファミリーサポート事業、子ども宅食事業、ひとり親家庭等日常生活支援事業、養育支援訪問事業、SNSによる相談事業などに取り組む中で、多くの課題があり対策が求められていることをお聴きしました。

それぞれの現状や課題、ご意見を参考としながら調査研究を推進します。



飛騨高山わらべ歌の会との意見交換会

■校舎長寿命化改修工事の現地調査活動

令和3年9月から工事が始まり、令和5年3月に工期が終わる江名子小学校と三枝小学校の校舎長寿命化改修工事について、11月18日に現場を確認しました。

授業や行事を行いながら進められる工事であるため、進捗状況や安全・安心の観点から確認しました。両校とも内装に地元産木材が多く生かされ地産地消に取り組む設計で、学校運営に影響が少ないよう段階的に工事が進められ、子どもたちにも工事の様子が見えるように工夫されていました。設計時には確認できなかった壁のひび割れ対策等があり、改修費用の増額が必要ですが、大きな課題はなく順調に進んでいることを確認しました。



江名子小学校の視察

議会閉会中の委員会活動

産業建設委員会

当委員会では、「アフターコロナの課題解決に向けた観光振興と特色ある地域振興策について」の調査方針のもと、10月13日から14日にかけて先進地を訪問し、高山市との比較や課題などを調査しました。

■ 広域自治体及び国と民間事業者(産官)連携による「食・農複合施設プロジェクト」による地域振興の実践事例【三重県多気町～VISON～】

全国初の民間スマートIC直結施設で、約220億円の事業費をかけて開発。木造で大型の産直市場、発酵をテーマにしたメーカー直営の蔵エリアのほか、薬草を活用した温浴施設、スイーツヴィレッジ、季節を感じるホテルなど、9つのエリアに約70店舗が出店する複合リゾート商業施設です。令和4年6月には、デジタル田園都市国家構想「三重広域連携モデル」が採択され、本年度事業として、まずは住民や観光客のユーザーインターフェースとなるポータルサイトの構築や、中心的サービスとなるデジタル地域通貨の普及促進事業が進められています。



■ 地域資源としての温泉を活かした開発事例【三重県菟野町～アクアイグニス～】

新名神自動車道の用地買収を機に開発に着手。そのコンセプトは、食と癒しのリゾートを目指すということで、温泉と女性客に受けるスイーツに着目しました。東京の有名パティシエ辻口博啓氏と巡り会えたことが一つの転機となり、彼のネットワークから食のコンセプトが広がり、イタリア料理の奥田政行シェフ、日本料理の笠原将弘シェフなど様々なクリエイターとの出会いがリゾート開発としてのアクアイグニスのブランディングの確立に寄与したものとされます。

■ アウトドアプラットフォーム事業を進行する体制【郡上市】

近年、目覚ましい活動でターゲットを絞った観光誘客が話題となっている郡上市。観光誘客におけるBtoB(企業が企業に対してモノやサービスを提供するビジネスモデル)の活動については、観光エージェントとの関係に強みを持つ観光連盟を中心とするDMO(観光地域づくりの舵取りを担う法人)が受け持ち、BtoC(企業がモノやサービスを一般消費者に提供するビジネスモデル)の活動については、行政が受け持つといったDMO体制を官民の役割分担を明確にし構築されていました。

特に組織の自立に向け、収益化には力を入れられていました。DMOはマーケティングに主軸を置いている組織(地域が稼ぐ力をつける)であり、自己財源に結び付きにくい部分があります。人材などひとの課題はあるものの、「地域に特化した会社」であるDMC(地域と協同して観光地域づくりを行う法人)の機能を持つことで「自分たちが」稼ぐ力の強化を図ろうとしています。若い有能な人材を配置することでデータに基づくまちづくりの方針は成果を生んでいると思われま。



これらは、北海道下川町の視察(木質バイオマス、バイオガスプラント)とならび、政策提言に向けて指針とすべき先進事例であると考えます。

令和4年度 地域別市民意見交換会

今年度の地域別市民意見交換会は

議会では、令和4年11月8日から12月14日にかけて、市内20地区330名の参加により地域別市民意見交換会を開催しました。

今年度は、コロナ禍での市民生活等への影響についてや、その他の地域課題について意見交換を行いました。

今後、地域別市民意見交換会でいただいたご意見を、所管する常任委員会に割り振り、回答を検討します。次号のぎかいだより51号(5月1日発行)で、ご意見に対する市議会の考えを抜粋して掲載する予定です。



議会閉会中の委員会活動

産業廃棄物特別委員会

■アイザックオール(富山市)

「管理型産業廃棄物最終処分場」の実際の施設運営や安全管理等について調査するため、富山市の(株)アイザックオールが運営する産廃処分場を現地視察しました。

雨水等が埋め立てた産業廃棄物に触れて染み出てくる浸出水を場内施設で処理した後、その全量を自社の処理施設へローリーで運搬し、基準値以下まで再処理した上で下水道に放流するという3次処理を行っているのが特徴です。



■兵庫県赤穂市

赤穂市議会は産廃処分場建設反対議員連盟として、地域住民の活動を主体としながら、それをサポートする形でさまざまな活動を展開しています。

市ホームページに貼りつけた施設概要の動画をはじめ、のぼり旗を立ててのチラシ配布、新聞折込み、講師や弁護士を招いての勉強会など、あらゆる機会やツールを駆使して反対の機運醸成に取り組まれていました。

■兵庫県上郡町

条例に基づく住民投票を執行し、全国的にも注目された自治体で、過疎に悩む一部地区の住民から地域活性化への期待感もあって、町全体が一丸となつての反対運動とはならなかったものの、住民投票の結果8割近い町民の反対意思が示されています。

行政主導とはいえ起点は住民運動であり、議会もそこを外すことなく行動を起こす必要があると考えます。

■視察を終えて

荘川町の皆さまや流域の自治体とも連携を図りながら調査を進めていますが、風土や文化の異なる日本一広い市域を擁する高山市において、全市的な情報共有を図るためにあらゆる機会や媒体を駆使し取り組む必要があると受け止めています。

また、客観性を意識する特別委員会とは違い、強い意思表示で地域住民に寄り添う自由度の高い活動、議会としてのあり方についても検討する予定です。

■参考人招致

福岡大学名誉教授の樋口壮太郎先生を参考人としてオンラインで招致し、産廃処分における環境や防災に関する技術的な教示をいただきました。

お話しの中では、最近の産廃処分場建設の動向や、遮水シートの安全性、産廃搬入時のチェック、処分場廃止後までを見据えた安全確保、盛土規制法など多岐にわたる現状と課題について説明をいただき、各委員からの質疑にも的確に答えていただきました。



ぎかいだより発行50回のあゆみ

高山市議会では平成22年から「ぎかいだより」を発行し、今回で50号を迎えました。

「ぎかいだより」は「わかりやすく開かれた議会」をめざす議会活動の一環として平成22年に創刊し、平成23年からは年4回の発行としています。今回は創刊からの「ぎかいだより」を振り返りましたが、引き続き市民の皆様には議会活動をわかりやすくお届けできるよう取り組んでまいります。皆様からのご意見もお待ちしています。

創刊号(平成22年11月創刊)



市民に身近な活動の一環として議会広報紙を創刊!

題字は小学校高学年の児童に依頼しました。現在も順番に全小学校の高学年の児童に依頼しています。毎回、素敵な題字をありがとうございます。



2010年
(平成22年)

2011年
(平成23年)

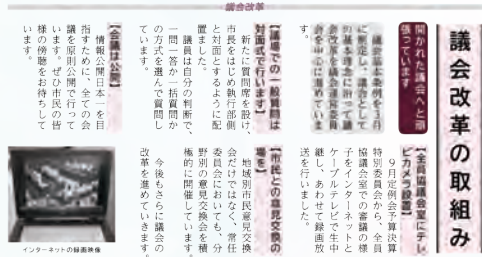
2012年
(平成24年)

2013年
(平成25年)

2014年
(平成26年)

2015年
(平成27年)

第5号(平成23年11月発行)



議会改革の取り組み報告

- ・対面式一般質問の実施
- ・全員協議会室にテレビカメラの設置
- ・全ての会議を原則公開

議会改革の取り組み状況は随時報告しました。

第15号(平成26年5月発行)



第八次総合計画に対する政策提言

政策課題① 創性ある地域づくりの推進と新たな一体感の確保
【政策課題①】 地域づくり活動の促進に向けた仕組みづくり

1. 活動のまちづくりに対する市民意識の醸成と推進体制の整備
現在、全国において、活動のまちづくりに取り組む自治体が増え、推進体制が整備されているが、地域により、進捗状況が異なる。また、地域に対して、市民が活動のまちづくりの重要性を認識し、主体的に参加するよう促しているが、地域によっては活動のまちづくりの推進が遅れている地域もある。

また、活動のまちづくりへの参加促進は、組織を構築して取り組むことである。地域づくり活動に対する主体性・積極性・参加性を促進する行政の役割がある。活動のまちづくりの推進に当たっては、行政が一丸となって取り組むことが望まれる。活動のまちづくり推進体制を構築する等、各部署が連携して取り組むことが望まれる。

また、自主運営組織の推進を図る。町会・部落、町民会連合会等、自主運営組織の推進を図る。活動のまちづくりの推進に当たっては、これらの取り組みが推進に資する。活動のまちづくりの推進に資する自主運営組織の推進を図る。活動のまちづくりの推進に資する自主運営組織の推進を図る。

政策提言書を提出

第八次総合計画の策定にあたり、議会では特別委員会を設置しました。各常任委員会を分科会として位置づけ、政策課題について調査・研究を行い、7つの政策課題、10の政策提言として取りまとめ、市長に提出しました。

第10号(平成25年2月発行)

議会改革度調査 2012ランキング
早稲田大学マニフェスト研究所

| 総合順位 | 都道府県 | 議会名 |
|------|------|---------|
| 1 | 三重県 | 三重県議会 |
| 2 | 鳥取県 | 鳥取県議会 |
| 3 | 福島県 | 会津若松市議会 |
| 4 | 群馬県 | 高山市議会 |
| 5 | 宮城県 | 宮城県議会 |
| 6 | 千葉県 | 流山市議会 |
| 7 | 新潟県 | 上越市議会 |
| 8 | 京都府 | 亀岡市議会 |
| 9 | 東京都 | 町田市議会 |
| 10 | 三重県 | 伊賀市議会 |
| ～ | ～ | ～ |

(1,371議会が回答)

お知らせ
議会改革度ランキングで 全国第4位に!

議会の役割や責務を体系的に規定した議会基本条例の制定や、本会議一般質問における「問-答方式」の導入、CATV・インターネットによる議会中継や議事録の公開、市民意見交換会など議会の動きが分かりやすくなっている点が評価されたと受け止めています。今後も改革を進める予定です。

議会改革度ランキング4位の報告

早稲田大学マニフェスト研究所が行っている議会改革度ランキングで高山市議会が全国第4位になったことを報告しました。



政策討論会を開催します

総務環境、福祉文教、産業建設の3つの常任委員会
が、市の重要な政策課題について、調査研究や議論を
重ねてきた成果を政策討論会で発表し、議員全員で討
論を行います。

今回のテーマは、環境や子ども、産業や地域政策に
ついてを予定しており、政策討論会の結果を踏まえ、後
日、議会として市長に対し政策提言を行います。

政策討論会

日 時 令和5年2月27日(月) 午前9時30分から
場 所 高山市役所 5階 議場

政策討論会は、どなた
でも傍聴していただ
くことができます。ま
た、この様子は、ヒット
ネットTVでも中継し
ます。ぜひ、ご覧だ
さい。



ぎかいだよりの表紙写真を 募集しています

市民の皆様に議会広報紙がより身近なものとなるよ
う、ぎかいだよりの表紙写真を募集しています。

募集要項は、市議会ホームページでも確認できます。
また、お問合わせにより、事務局から募集要項などを
郵送(ファックス)させていただきます。応募は、個人
に限らず、団体や学校等で撮影いただいたものでも可
能です。(詳しくは募集要項を参照ください。)

多くの応募をお待ちしています。

◆次号令和5年5月1日発行のぎかいだより第51号の
表紙写真の募集締切は令和5年4月7日(金)です。

◆申し込み・問合わせ

高山市議会事務局

TEL 0577-35-3152

FAX 0577-35-3170

mail:gikai@city.takayama.lg.jp



令和5年 高山市議会 3月定例会日程(案)

| 開会日 | 曜日 | 会議内容 | 場 所 |
|-----|----|-------------------------------|--------|
| 3/1 | 水 | 午前9時30分 本会議(提案説明、質疑、委員会付託) | 議 場 |
| 6 | 月 | 午前10時 一般質問通告締切 | |
| 7 | 火 | 午前9時30分 常任委員会(議案の付託された委員会) | 各委員会室 |
| 9 | 木 | 午前9時30分 本会議(一般質問) | 議 場 |
| 10 | 金 | 午前9時30分 本会議(一般質問) | 議 場 |
| 13 | 月 | 午前9時30分 本会議(一般質問) | 議 場 |
| | | 本会議終了後 議会運営委員会 | 全員協議会室 |
| 15 | 水 | 午前9時30分 総務環境委員会 | 全員協議会室 |
| 16 | 木 | 午前9時30分 福祉文教委員会 | 全員協議会室 |
| 17 | 金 | 午前9時30分 産業建設委員会 | 全員協議会室 |
| 20 | 月 | 午前9時30分 予算決算特別委員会 | 全員協議会室 |
| 22 | 水 | 午前9時30分 予算決算特別委員会 | 全員協議会室 |
| 23 | 木 | 午前9時30分 予算決算特別委員会 | 全員協議会室 |
| 24 | 金 | 午前9時30分 本会議 | 議 場 |

このマークが付いている日はインターネット・ケーブルテレビで中継します。



編集後記

今回発行の「ぎかいだより」は、創刊号の平成22(2010)年11月1日号から数え
て50号となりました(増刊号を除く)。その変遷は、特集ページに記載しました。

創刊号を見返すと「時代に順応し市民ニーズに応えるため、私たちの改革ははじまりました。」のフレーズがありまし
た。議会の様子を市民に見える化させるための一つの手段として広く報告する活動です。干支の一廻りである12年
間の年月において、情報収集の方法に常にリアルさが求められることがあたり前にもなりました。

一方で、リアルとの時間差が生じて、事後的ではありますが、それまでの経過や事情をつぶさに伝え、確認できる
市民との情報共有のための広報誌は大切であり、今後もアンテナを張り、時代のニーズを取り込みながら、見やすく、
手に取ってもらえる紙面づくりを継続していきたいと考えています。

ところで令和4年12月定例会では、懸案の著大事業である、新ごみ処理施設建設事業の本体工事請負契約締結案
件が可決され、敷地造成工事と共に本格的に動き出せる状態が整いました。令和8年2月までには、試運転期間を終
えて完成する予定です。今後、総務環境委員会からの附帯決議を鑑みた30年間の安定稼働による管理維持運営の
履行を強く望むものです。(審査の内容は、2ページをご覧ください)

